



ガーデニングは防犯効果抜群ですよ！ 各町内で一斉「花いっぱい」運動の展開を！

三重県ホームページ「安全安心まちづくり」(※)によりますと、庭いじり（ガーデニング）での花卉・植栽を自宅の庭先や町内共有地に行うことで、犯罪組織を町内に呼び込まない、近づけない効果がある、即ち「立派な防犯活動になる」とされています。

これから温暖な気候が続く中、梅雨入り前に是非、町内で「花いっぱい運動」を展開し、犯罪を起こさない取組みを進めませんか？ **環境美化の用務こそ防犯に効果の高い取組み**です。環境部と防犯部の協働活動を一度ご検討ください。

※出典元 URL : <https://www.pref.mie.lg.jp/SEIKOTU/HP/anzen/87875000001.htm>

ガーデニングの防犯効果は？

イギリスでは、トゲのあるバラの花や葉が防犯対策に利用され、日本でも江戸時代の武家屋敷ではトゲのある茨（いばら）などを生け垣にして敵の侵入を防いでいました。これらは植物のトゲを利用した防犯対策ですが、トゲのない美しい花にも防犯効果があります。

美しくガーデニングが施された家や地域は、一見して「きちんと管理されている」「地域の連帯が強い」という印象を与え、人が花の手入れや水やりに出てくる可能性があるため、泥棒が侵入を思いとどまらせる効果があります。

さらに季節ごとに表情を変える花は、近所の人や通りかかる人の注目を集めるため、泥棒はその家や地域での犯行を嫌います。しかし、花や植物が外からの視界を遮（さえぎ）ったり枯れたままでは、逆に防犯効果は低くなるので、日頃の手入れが重要です。

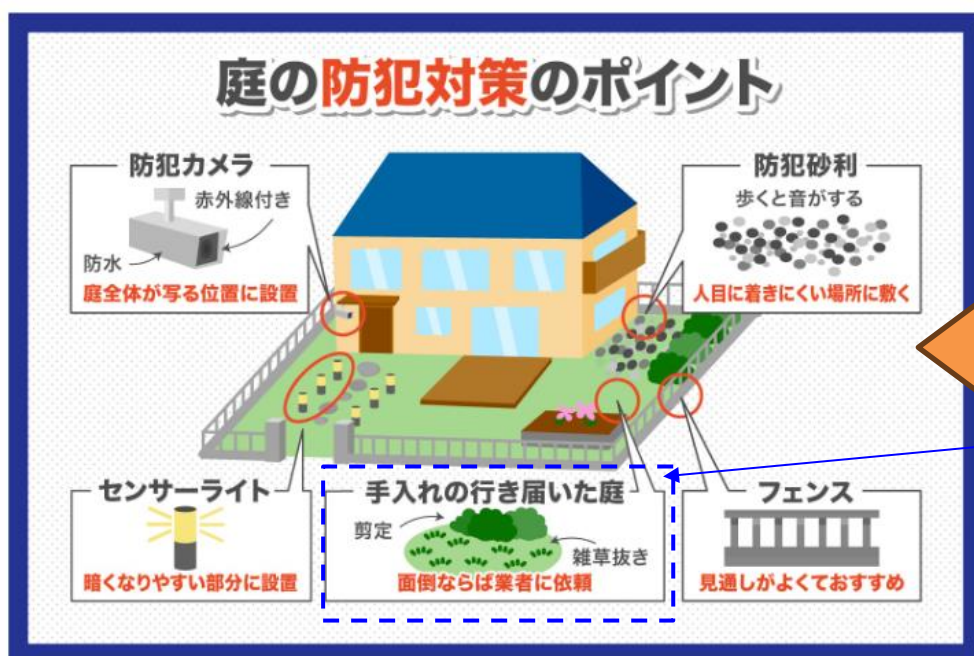


防犯ガーデニングのポイント

侵入経路になりやすい場所（家の目立たない場所）が雑然としていると、不用心と思われてそこが狙われる可能性があるので、通常、花がない場所にもあえて花を植える。

背の高い植物は外からの見通しを遮るので注意が必要です。成長が早い植物は茂りすぎないように、こまめに剪定しましょう。

泥棒は音も嫌うので、植物の「ガサガサ」という音も防犯効果があります。ヒイラギの葉のようにチクチクするものも効果があります。



犯罪抑止の重要な3要素

領域性：フェンスなど
監視性：犯罪者が嫌う目(防犯カメラ)・光(ライト)・音(防犯砂利)
抵抗性：鍵・格子窓や強化ガラス
とともに環境整備が重要

犯罪抑止の3要素について
は後日改めてご案内します。

三重県津市の高松自治会では、毎月第1日曜日に地域の方々が集まり、『花いっぱい運動』を展開しています。

この『花いっぱい運動』では、高松地区に所在する公園の出入口スペースに設けた花壇を利用し、現在は、パンジーを中心に色とりどりの花々で公園へ出向く地域の方々を出迎えます。また、高松自治会では、『花いっぱい運動』を高松地区に所在する学校の学生（ガーデニングガールズ）とも定期的に行い、地域との絆を深めるための交流にも活かしています。



次号は5月12日に掲載します。
以降、毎週月曜日の発行となります。